

Japanese Association of Trombonists

# JAT NEWS

第 54号

日本トロンボーン協会会報 2001.2 発行

事務局: 〒112-0013 東京都文京区音羽 2-2-2-603 プロアルテムジケ内 tel. 03-3943-6677 fax. 03-3943-6659  
郵便振込: 日本トロンボーン協会事務局 東京 9-175867

## ジャパン・ブラス・フェスティバル 2001 開催要項

ジャパンブラスフェスティバル実行委員会によるフェスティバルの現時点でのプランを報告いたします。

1. 名称: ジャパン・ブラス・フェスティバル 2001

2. 趣旨: 金管楽器の四協会(日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会)が、合同でフェスティバルを行う事により、各協会の長年の実績とノウハウを集合して、日本全国のブラス・プレーヤーの意識の向上を計る。また海外よりのゲストアーティストも含め多彩且つ内容の深い行事の展開により、若い世代を中心とした音楽文化の振興と啓発、国際交流を計る事を目的とする。

3. 開催経緯: 日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会の金管四協会が、発足以来各々の楽器のジャンルにおいてそれぞれに有益な内容の事業を展開してきた。1995年に金管四協会の理事長、会長のトップ会談が行われ、各協会の親睦と情報の交流、協力関係を目的として金管四協会連絡会議を定期的に行う事が決定された。最初は日本ホルン協会が幹事を務め、各協会が2年の任期で交代する事とした。連絡協議会において、たびたび合同企画について討議され、1999年7月の会議において、合同フェスティバルを開催する事が決定された。また、トロンボーン協会は幹事としてこのフェスティバル終了まで任期を遂行する事となり、同日フェスティバルの企画委員会の発足をした。2000年の夏のプレ・フェスティバルも検討され、北区文化振興財団の共催の約束も取付けたが、各協会の行事日程の問題があり、2001年の夏のフェスティバルに的を絞る事となった。2000年の4月例会において、交渉中であった洗足学園での受け入れが決定した旨の報告をもって、実行委員会の設立とした。

4. 主催: ジャパン・ブラス・フェスティバル 2001 実行委員会、日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本ト

ロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会  
マネジメント: プロ アルテムジケ

5. 後援: (予定/順不同)

文化庁、神奈川県教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、全日本吹奏楽連盟、日本吹奏楽学会、朝日新聞、神奈川新聞、パイパーズ、バンド・ジャーナル日本現代音楽協会、洗足学園 日本アマチュア・オーケストラ連盟日本オーケストラ連盟 …………… 他

6. 協賛: (予定 / 順不同)

ヤマハ、河合楽器製作所、山野楽器、グローバル、全音楽譜出版社、野中貿易ビュッフェ・クラボン、真田貿易、下倉楽器、プリマ楽器、ダク、ネロ、グランド楽器、セントラル楽器、佼正出版社、ビーフラット・ミュージックトランペット・ラウンジ、…………… 一般企業 他

7. 開催期間:

2001年(平成13年)7月20日(金・祝) / 21日(土) / 22日(日)の3日間

8. 会場:

洗足学園大学 前田ホール、前田講堂、レッスン室、講義室等

9. 事業内容:

(1) コンサート 前田ホールにおける3日間のコンサート・四協会合同大編成金管オーケストラ・種々の編成による金管アンサンブル・海外招待アーティストによるコンサート・異ジャンルとのアンサンブル(ジャズ)・金管アン純生日本トランペット協会会長 北村源三日本ホルン協会会長 伊藤泰世日本トロンボーン協会会長 三輪純生日本ユーフォニアム・テューバ協会理事長 後藤丈夫ジャパン・ブラス・フェスティバル実行委員 一同

ジャパン・ブラス・フェスティバル実行委員会事務局:  
112-0013 東京都文京区音羽 1-20-14-5 F プロ アルテムジケ 内

# アンソニー＝ブローグ、 ブラニミール＝スローカー& ザ、プラス ジョイントコンサートを終えて

ザ、プラス代表 山口 修身

スローカー氏とは、以前カルテットで演奏していたピア（女性奏者）と私がベルリンで同期生だった縁で、友達付き合いが始まり今回に至りました。今回のジョイントコンサートは、世界の一流の演奏家と演奏でき、学ぶ所もたくさんあり、とても楽しくラッパを吹けました。プログラムはお互いに相談して決め、楽譜は前もって送ってあったので練習もスムーズに行きました。メンバーの出身地は、ブローグ氏（アメリカ）スローカー氏（旧ユーゴ）我々は（日本）で、楽器の学び方、生活環境等で演奏スタイル（ラッパから出てくる音）が異なる事を強く感じました。ブローグ氏は、平和の中で生活し平穏無事に今に至り演奏スタイルもオーソドックスな感じ、スローカー氏は、旧ユーゴスラビアの社会情勢の中で育ち『音』で何かをアピールする。我々『無機質』、あくまで私の主観ですのであしからず！。

今回のジョイントコンサートで一番感じた事は『音のアピール 表現力』の違いでした。

例えば<図1>を歌ってみると、（ターハ、バーラ）ズージャでは（ズビズーバ）と言う風に表現できますが、一般的に（ターラ、ターラ）と、（日本では）歌う事が多いですね、歌う発想が音に出るのは大だと思えます。

以前アイザック＝スターン氏も同じような事を言っていました。和音（三和音）を色に例えれば（赤・黄・緑）の混ぜ具合で、多彩な色が出るのと同様に、我々が演奏する曲目にはヨーロッパの油絵的な表現要素が必要だと考えます。

現在日本では金管楽器を学ぶ基本的なメソッドがないように思います。初心者からきちんと学べるシステムを作る時期に来ているのではないのでしょうか！ 例えば、専門学校で子供の時からレッスンが受けられるとか地域の学校に

先生（専門家）が定期的に来るとか・・・などなど今回はいろいろ考えさせられた機会となりました。

ところで余談ですが、スローカー氏が友人とイカ釣りをするとの事でリハーサル後釣り具店へルアーを買いに行きました。釣りの結果がいかだったか次回聴きたいと思っています。

最後になりましたが、この機会を作って頂いた『プロアルテムジク』の皆様へ感謝申し上げます。

\*\*\*\*\*

山口修身プロフィール・・・国立音楽大学を経て、ウィーン国立音楽大学に留学、ウィーンフィルの首席だった故ハンス・パウアーに師事。後に、ベルリン音楽大学に移り、ベルリンフィル元首席奏者ヨハン・ドムスに師事し卒業。帰国後は、トロンボーン奏者として活躍する傍らアレンジャーとしてプラスアンサンブルの楽譜を国立楽器より出版。ポリグラム『音楽アンサンブル入門』のアレンジを担当。THE BRASS 主宰

< 図 1 >



（前列中央 筆者）



アンソニー・ブローグ & ブラニミール・スローカー & カタリーナ・ケグラ  
with ザ・プラス コンサート プログラム

目覚め ... J.Fr.Michel / バラード ... F.Martin / 詩的な音画より ... 春の歌、おしゃべり、  
フリアント ... A.Dvorak / 伝説 ... G.Enescu 三重奏曲 ... F.Campo --- 休憩 ---  
カンツォーナ (No.2)、ピアノとフォルテのソナタ ... G.Gabrieli / 金管八重奏曲 ... A.Plog /  
「カルメン組曲」より ... 前奏曲、ハバネラ / メリー・ウィドー・ワルツ ... F. Lehar / 「カヴァレリア・  
ルスティカーナ」より間奏曲 ... P. Mascagni / 「ダンスリー」より ... ロンド、バスターズ「上着のない  
羊飼ひ」、バヴァーヌ「戦争」 ... T. スザート

## 2つのトロンボーンイヴェント イン アメリカ

昨年秋 ロスアンジェルスとラスヴェガスで行われたトロンボーンイヴェントを簡単に  
御紹介します。 写真と資料提供 森下秀三 (名古屋在住)

LOS MEDANOS CDLLEGE  
PRESENTS  
OCTOBER 28, 2000  
Los Medanos College,  
Pittsburg



写真下:

ビリー・ロビンソン指揮 ベイ・ボーンズ  
ソロ; ジョー・アレッシ/リハーサル風景



写真上; 左から

ビリー・ロビンソン (ベイボーンズ)  
トミー・バジェジ (元スタン・ケント  
ン)  
ビル・レイフェンバック (Jazz Bass  
Trb)  
ジョー・アレッシ (NYフィル)  
ディーン・ハバード (ホスト)  
森下秀三

UNIVERSITY OF  
NEVADA  
LAS VEGAS  
76 TROMBONES + 4

主なソリスト;

カール・フォンタナ、ウェイン・アンドレ  
トム・アーヴィン、ディック・マクギー  
ジム・フィッツジェラルド、バリー・ロス  
スティーヴ・スレーター

このコンサートはサンフランシスコのベイボーンズ (リーダー: ビリー・ロビンソン) とロスアンジェ  
ルス・ウエスト (リーダー: ジョージ・ロバーツ) を中心にアメリカ南西部のプロやアマチュア  
が毎年この時期に集っている。

## program

Strike up the band		George Gershwin/Barry Ross
Prelude and Fuge		J.S.Bach/Abe Nole
Suite .... Allegro, Nocturne, March	Billy Robinson, Conductor	Ronald Lo Presti
Morceau Symphonique		Guilmant/Pezzelato
Relax, Take it easy	Tom Ervin, soloist	ArtWiggins/Frank Cheever
Gentle Rain		Luis Bonfa/Richard McGee
Without a song		Eliscu, Rose, Youmans/Harrison
The folks that live on the hill		Kern and Hammerstein/Fletcher
I thought about you	Steve Slater, soloist	Van Heusen and Mercer/Fletcher

## intermission

Bill Bailey		Ellington and Reese/Atkinson
Slide frog, slide		Paul Barbarin/Dick Taylor
Lassus trombone	Jim Fitzgerald, soloist	Henry Fillmore/Dick Taylor
2001 (The Real Millenium)		Richard Strauss/Wayne Andre
Laura		Mercer and Baskin/Andre
	Wayne Andre, soloist	
Special Selection		Carl Fontana
76 Trombones		Meredith Wilson-Bill Rodgers
	Carl Fontana, soloist,	

最強の金管セクションを誇るシカゴ響のブラス・アンサンブル、  
シカゴ響の未来は彼らの手に！いよいよ待望の来日！  
シカゴ響ブラスクインテット

### The Chicago Symphony Orchestra Brass Quintet

ジョン・ハグストロム(Tp) / マーク・ライテノー(Tp) / オット・カリーロ(Hrn)  
マイケル・マルケイ(Tb) / ジーン・ボコーニー(Tub)

▼2001年6月5日(火)18:20 開場 19:00 開演 横浜みなとみらいホール大ホール 一般 ¥4000 / 学生・シルバー ¥2000 / トリオ券(3名1組)10000円 ▼発売日 3月10日(土) ※トリオ券はプロアルテのみで取り扱います。

▼チケット取扱・お問合せ: プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677 (チケット郵送サービス有)

▼主催: プロ アルテ ムジケ ▼共催: 横浜みなとみらいホール(財団法人横浜市文化振興財団)

▼後援: アメリカ大使館、横浜市、神奈川県吹奏楽連盟、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ホルン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会(予定)

Program (曲目は一部変更の可能性があります。)

P. ヘレンダール(レイノルズ編曲): 楽曲第10番M. アーノルド: 金管五重奏曲G. マーラー: 美しいトランペットが鳴り響くところJ. スティーヴンス: 四季G. ガーシュイン(ガール編): ポーギーとベスジャズ・ピース/ザッツ・ア・ブレンティ、ボビン・アンド・ウィーヴィン、茶色の小瓶、センチになって

### 全国公演日程

6月6日(水) 文京シビックホール	6月11日(月) 茨城県立県民文化センター
6月7日(木) 尼ヶ崎市アルカニックホール	6月13日(水)(名古屋) 電気文化会館コンサートホール
6月9日(土) 姫路市文化センター	6月14日(木) 聖徳学園大学(学校公演のためクローズ)
6月10日(日) 秋田県アトリオン音楽ホール	6月15日(金) 盛岡市都南文化会館(キャラホール)

## 神田めぐみの トロンボーンと私

今回会報にわたくしの記事を書かせていただけるということで、この際旨味が知りたかった(?) 秘密を一挙にばらしてしましましょう。

### ・トロンボーンとの出会い

ではでは、まず良くある質問でなぜトロンボーンなのかというのがございますので、まずはわたくしとトロンボーンの出会から語らせていただきます。わたくしがトロンボーンをはじめたのは10歳のころでありました。小学校には気のきいたブラスバンドなどがありまして、クラリネットなどをやりたいということで入部したところ、どうも出遅れたらしいんですな。もう楽器は余っていない状態になっておりました。こりゃあいかん! 必死になって倉庫を探したらつぶれたトロンボーンがでてきたじゃありませんか。こっそり吹いてみたら豪快な音がするじゃありませんか。これだー!!!と稲妻の如くエキサイトしてしまったわたくしは右にはベル、左にはスライドになるように組み立て、ポジションなどという言葉も知らず元気にぶーぶーはじめたわけです。

### ・メリーさんの羊事件

さてさて、子供たちがそろそろ上手になってきただろうと思った先生は、メリーさんの羊が吹けるかなテストを企画いたしました。できたらシールがもらえるすてきなテストぞんず。わたくしは自信满满で元気に吹いたはずだったんだけれども・・・しっかり落ちました。しかもバンドで落ちたのはわたくし一人の様子。おかしい! そんなはずはない! と思いつつもあきらかにバンドで一番下手なのは一目瞭然。きーつ、見ておれー!・・・とその日から授業前の一時間、昼休み、放課後練習の日々がはじまり、半年後からは教会でソロの演奏もできるくらいまともなお手前になってきたのであります。

### ・レッスンを受けたいのだ!

そんな日々を経てわたくしも中学生になり、そろそろちゃんとした先生について音楽家を目指したいものだと思うようになりました。しかし、はて? どうやって先生を探せばよいのか全くわかりません。えー!! 当たって砕け

ろ!とわたくしは無謀にも某音大に忍び込み、トロンボーンを持ったお兄さんに先生はどこですか?などと聞いたのであります。まったくいい根性をしていました。あいに先生はその日はお休みだったということで、わたくしは意気消沈して家に帰りました。

そのことを知った両親は衰れだと思ひ、知り合いの桐朋の先生をお願いしてN響の三輪純生先生を紹介してもらえました。その時のわたくしの喜びようはまさに言葉では語りがたいほどでありました! そうして楽しく元気にトロンボーンの勉強をして桐朋女子高校音楽科に入学するはこびとなったわけです。

### ・緊張の日々

桐朋にはいってからも楽しく勉強していたのですが、どうも中途半端に吹けて、コンクールで賞などいただいたものですから妙なプライドが芽生えてまいりました。自分もしかししたら下手ではなく、期待されているのかもしれないと思った時からどうも体の具合が悪くなってきました。



本番の日に熱が出たり、口がはれたり。しまいには緊張ゲロは百発百中するようになってしまいました。さて、これでは演奏家になれんな。

そう思ったわたくしは人一倍前段で演奏するように決めました。普通の演奏では足りん。ということで駅前の

橋の上で一曲吹いたこともございました。そうして幾千もの失敗や恥ずかしい演奏で自虐行為を重ねるうちに、だんだん落ち着いてまいりました。

今でも緊張はもちろんしますが、もっと演奏上大切な事に目を向けていられるようになってきています。

そしてプライドはどぶに捨てました。

恐らく音楽家として大変未熟な自分が見えるようになってきたということでしょうかねえ。

#### ・アメリカへGO!

話をもどって高校生のわたくしはアメリカで勉強したいと思うようになりました。もう少し厳しい環境に自分をおいてみたかったからなのですが、しかしまずはアメリカのどこに行きたいのかをきめなくてはならぬ。そこで、アメリカのオーケストラが日本に来たときには必ずサントリーホールの隣のANAホテルに電話して「トロンボーンの方々にお願いです。もしトロンボーンでつないでもらいますら、ぜひレッスンを受けたいです。ぜひいろいろ先生方にレッスンを受けたのですが、中でも際立っていたのがクリーブランド管弦楽団首席のジェームズ・テ・サーノ氏でありました。素朴で美しい音としずかながらも大変厳しい人柄と音楽への姿勢に感銘を受け、この先生とこんないいオーケストラがあるんだらグリーンランド(だと思ってました・)でもどこでもいくぞ!と勢いよくクリーブランド音楽院に突撃いたしました。

#### ・口が壊れるの巻

クリーブランドにきて最初の印象は厳しい。ということでありました。日本では先輩の皆様にかわいがっていただいていたのに、アメリカでは皆がライバル心むきだしでかなり戸惑いました。シビヤなんだなー。とくに音大レベルは・・と、そのうえにわたくし史上最大の試練が襲ってきたのであります。新しい環境で吸収したいことがありすぎたわたくしは毎日8時間ほど練習するようになっていました。そんなことをすれば結果は見えています。わたくしの口の筋肉は壊れてしまいました。音さえも出なくなり、半年ほど全くトロンボーンを吹かない日々が続きました。もう終わりかなあ・・なんて思い始めた頃、テ・サーノ氏が一からやり直そうと言って下さり、毎日口の周りの筋肉で死んだ分の筋肉を支えるレッスンをしてくださいました。一日3分からはじめ、オクターブもでないような状態でしたが、半年後には人並みに戻る事ができました。この時期はわたくしにとって最もプラスになったかと思えます。演奏上のメカニズムを考えるようになり、また日々演奏できる事を感謝するようになりました。ああ、よかったあ。

#### ・オーケストラに入団!

アメリカの野球がどんなものかは多分ご存知でしょう。マイナーリーグからはじめていざればメジャー入りを目指すというのですが、アメリカのオーケストラもおなじであります。わたくしは大学の3年のときにオーディションを

うけてNY州の州都にあるアルバニー交響楽団の首席奏者になりました。このオーケストラ、マイナーリーグではありませんでしたが場所が良かったせいもあり、なかなかの胸前でした。

若い人が多く、早くメジャー入りしたいねなんて励ましあいがらがんばっておりました。ここにいる間にはコンチェルトデビューをさせて頂いたり、コマーシャルに出させていただいたりと随分お世話になりました。ここで3年間働いたあとに去年ロチェスター・フィルハーモニー管弦楽団に移籍が決まった時にもみんなとても喜んでくれました。

このロチェスター・フィル、日本公演したことがないので日本ではあまり知名度が高くないようですが、アメリカではメジャーオーケストラのひとつであります。代々有名どころではライナー、ストラビンスキー、ストコフスキー、バーンスタイン、ピーチャム等が振ってきたオーケストラであります。こうして在米日本人金管奏者、山本浩一郎さんに引き続き2人めのメジャー入りを果たすことができました。やれめでたや。

#### ・これからのこと

これからもオーケストラ(ロチェスター・フィル、クリーブランド管弦楽団契約団員)を中心にやっていくつもりですが、教えるほうではイーストマン音楽学校で少し教え、ボストン大学、ニューヨーク州立大学などでマスタークラスをいたします。ソロでは去年、今年、日米でコンチェルトデビューをさせていただきましたが、夏にはブラハ室内管弦楽団と一緒にヨーロッパデビューをする予定です。まだまだ歩き始めたばかりですが楽しく、厳しくやっていきたいと思っています。

これからもどうぞよろしくお願いします。

事務局からのお願い

## 住所変更?

結婚・転勤・などなど

された方はお知らせ下さい。

TEL: 03-3943-6677

FAX: 03-3943-6659

# 小野隆洋ソロリサイタル

去る2000年12月29日、代々木上原“ムジカーザ(<http://www.musicasa.co.jp>)”にて、あるトロンボニストの初ソロリサイタルが行われました。トロンボニストは小野隆洋(東京音大卒、現在は国立パリ高等音楽院: CNR 在籍)。



主催はアマチュアオーケ、千代田フィルのトロンボーン3名(Trio The Trombone of Chiyoda: トトロっち)。最近アンサンブルを始めた我々は、首藤健一氏とともに、昨年春先からは小野隆洋さんにも指導を受け徐々に上達(?)しつつありました。ところが小野さんがアジアユースオーケのツアーを終えて間もない10月初旬、小野さんがCNRでのコンクールで最高位獲得と留学決定を伝えるパリからのE-Mail。「小野さんとのアンサンブル、長くはできないかもね」という予感めいたものがあったものの、これほど早くに訪れるとは…。何か彼の恩義にむくいるには…「そうだ! リサイタルを開いちゃおう!」我々は感謝と“愛”を込め、急速ソロリサイタルを企画。名付けて『未来への軌跡』!

小野さんの快諾を受け始動。管打楽器コンクールと2001年1月4日の再渡仏という過密スケジュールの狭間、12月29日に会場確保できたものの、2ヶ月という準備期間は想像以上に厳しいものでした。

そして当日、年末の忙しいさなかではありましたが、爽やかな快晴に恵まれ、ホールは音大の仲間や弟子の諸君、また細洞 寛氏、東 貴樹氏、村上準一郎氏、多湖和夫氏を始め、数多くの方々のご来場であらゆる満席。そして小野さんの初リサイタルは、美しきピアニスト永原 緑さんの共演で、フランスもの中心の演目と、アンコール2曲を演奏し、大喝采と晴れやかな雰囲気の中、盛会に終わりました。

リサイタル終了後、同ホールにて歓送パーティに移行。フランス産赤ワインで杯を掲げ、小野くんの後輩、東京音大

トロンボーン科の2年生、3年生によるアンサンブルの中、大いに盛り上がりました。最後に小野さんを交え、我々、“トトロっち”編曲の4重奏、サザンオールスターズ『TSUNAMI』で打ち上げました。口慣らしの余裕もなく演奏の出来はなんと… だったのですが、“ムジカーザ” しばいに咲いた笑顔が、素晴らしいリサイタルであった事を我々に思わせてくれたのでした。ご来場の皆様、本当にありがとうございました。(八柳)



小野隆洋

永原 緑

## ▼プログラム▼

カヴァティーネ(サン=サーンス) / トロンボーン協奏曲(ダヴィッド) / バツハ風小品(デュファイ) / ソナタ(シューレック) / 二つのダンス(デュファイ) / 『ウェストサイド物語』より(バーンスタイン) / 白鳥(サン=サーンス) / 交響的小品(ギルマン)

●パーティーにて。小野さんを交えた4重奏。左から加藤



広之: グラツスル(アルト)、小野: コルゲン・フォークト、八柳智美: レッチェ、高山 巖: レッチェ(バス)

## 品川トロンボーンクラブ 静岡県「川根町音楽祭」参加ツアー記

私達は品川トロンボーンクラブの4人組です。昨年11月静岡県川根町で開催された同町の音楽祭に参加しました。今回の演奏旅行について4人の記念にしたいと会報に投稿をさせて頂きたくしました。先ず私達4人の自己紹介をさせて頂きます。

安田 徹(昭和27年生まれ、愛知県名古屋出身、千葉県鎌ヶ谷市在住、Y-11) ♫所有楽器:バック42Gセイヤー、コーン88HR(エルクハートモデル)、

コーン88Hセイヤー ♫マウスピース:モネ、テニスウィック5BL、バック5GS トロンボーン歴32年とキャリアだけは長い。昨年とうとう48歳になり今更トロンボーンを止める訳にもいかず、この先は終生現役を目指すしかない、年甲斐もなくハイトーンに挑戦をしている。♫趣味:中国語 ♫将来の夢:中国(or台湾)のトロンボーン吹きとの交流を実現すること

鈴木信行(昭和38年生まれ、東京都出身、品川区在住) ♫所有楽器:レッチェ、レッチェ(アメリカンモデル)、シャイアーズ2T/TB47(セイヤー) ヤマハ、レッチェのアルトを2本 ♫マウスピース:アイルリッヒ4G他 プロの方々も羨む位のトロンボーンコレクター。昨年結婚したこともあって、所有楽器はかなり減っていますが、今もレッチェを4本も持っている。(因みに安田さんの3本は全て鈴木さんのお下がりです!) こだわりの人で、音楽面のリーダーでもあり、本番の都度暗譜でやろうとか、セイヤーで揃えよう、レッチェで揃えよう!と暗に楽器を買い増しすることを勧めるとんでもない人であります。アレンジも得意としています。(例:今回のプログラムのサザンの曲) ♫ご案内:2本あるレッチェのアルトの1本を処分したいそうです。

どなたかご興味がおありの方はご一報下さい。4.5万円です。

「連絡先」E-MAIL でお願ひします:  
t.yasuda@mil.allnet.ne.jp

本田正博(昭和48年生まれ、秋田県秋田市出身、横浜市港北区在住、独身) ♫所有楽器:コーン88HY、ホルトン259、バック42セイヤー ♫マウスピース:シルキー51B 暗譜をさせたら一番早いのがこの人。しかも同時に何曲もインプットできる。普段ウォーミングアップをしている時も色々なメロディーが次から次へと出てきます。結構音の曲も出てきて「何だっけ?その曲」と思わず引き込まれてしまいます。

加藤正浩(昭和49年生まれ、東京都出身、豊島区在住、

独身) バストロンボーン担当 ♫所有楽器:シャイアーズ2G/TB62、レッチェ(チスリックモデル) ♫マウスピース:シルキー59 立派な体格のお陰で迫力満点の、いかにも「バストロ」という音を出してくれます。今も先生についてレッスンを受けていて、4人の中では唯一上達の見込みがある有望株です。



(後列) 本田正博 加藤正浩  
(前列) 鈴木信行 安田徹

私達4人が川根町の音楽祭に参加をするきっかけは、一昨年、町の音楽祭の事務局を務める高橋さんからメンバーの鈴木さん宛てにお誘いの話を戴いたことから始まります。お二人は大学時代の同級生で、同じバンドで吹いていた仲間同志でした。川根町の音楽祭は地元の川根高校、川根中学そして高橋さんが所属する社会人バンドの3グループの合同演奏会で、私達はゲスト出演という事で参加をさせて頂きました。音楽祭としては4回目だそうです。私達は一昨年に初めて参加をさせて頂きましたので、昨年は2度目の参加になります。

私達4人は生まれも、学校も年齢も全くバラバラで、正にトロンボーンだけで結びついている仲間、4人がカルテットの活動を始めてはほぼ6年が経過します。テナーバスの3人は特定の人に負担が掛らないように特にパートを固定せず、誰でも1st、2nd、3rdのパートが吹けるよう



に、いつもローテーションをしています。普段の練習は毎週木曜日、とにかく1週間に1回は必ず楽器に触れるように心がけています。そして月に1回、必ず4人が揃うようにと日曜日に練習を入れています。楽譜は四重奏を中心に約300曲を有していますが、好みと演奏技術の関係で、普段取り上げる曲には若干偏りがあります。(反省！)最後に二日間の活動状況ですが、11月25日(土)渋谷に集合をして、車1台に分乗し「いざ、スタート！」車中で流れる音楽はトロンボーンカルテットの曲だけで、4人の間では「洗脳テープ」と呼んでいます。

この日は地元の市民バンドの方々に歓迎会を催して戴きました。

宿泊したコテージの近くにあるイタリアンレストランだったので、他のお客様がいらっしゃったにも拘わらず、4人で演奏をしてちょっとしたミニコンサートになってしまいました。(なぜかとても好評でした)

11月26日(日) 午前中は休憩で、その間に川根中学のトロンボーンを吹いている可愛い女学生とトロンボーンの練習方法について色々話をすることが出来ました。

13:30 音楽祭開演 冒頭のご挨拶で教育長さんが

おっしゃられた「学社連携」と言う言葉が印象的でした。学生、社会人の学社です。正に音楽に垣根無しですよ！

15:00 私達のステージです。プログラムは①スカポロフェアー ②トロンボーン四重奏の為の組曲「ドリーム」③TSUNAMI(アレンジは鈴木さん)④トッパサウンド オブ ブロードウェイ【※】【アンコール】

①ゴスペル タイム【※】 ②この青い空、みどり(アレンジは鈴木さん)【※】印の曲は頑張ったというか、無理をしてと言うか、暗譜でパフォーマンスも入れて頑張りました。

会場を去るときに地元の皆さんから「また来年も来て下さいね！」と言われ、4人で安心したり喜んだり、東名高速の大渋滞も関係なくしっかりと盛り上がっていました。帰路も「洗脳テープ」に浸り、次回のメインとなる曲が1、2曲候補として上げられました。曲目ですか？それは秘密です！友情出演から始まった川根町の音楽祭ですが、今回は町の人々との交流も深めることが出来たとても有意義で楽しいツアーでした。

品川トロンボーンクラブ 安田 徹

## CONCERT INFORMATION

### レントラートロンボーン四重奏団プラス+1 第7回定期演奏会

とき：平成13年3月4日(日) 13:30開場 14:00開演

ところ：東京文化会館小ホール(上野駅公園口下車徒歩1分)

入場料：無料(全席自由)

※入場整理券が必要となりますので、下記ホームページをご覧になり、入手してください

#### 演奏曲目

ページェント(リン)  
ウィリアムテル序曲(ロッシーニ)  
協奏曲(テレマン)  
アヴェ・マリア(シューベルト、ブルックナー)  
イントロダクションとアレグロ(早川正昭) 他

#### 出演者

國枝 直宏(Tenor)  
松村 杜(Alt, Tenor)  
小金澤 一美(Tenor)  
植松 喜孝(Alt, Tenor)  
関根 一臣(Bass, Kontrabass)

#### お問い合わせ

電話 小金澤 一美 03-3707-4740

郵便 関根 一臣 229-1103 相模原市橋本7-17-1-602

e-mail RXB07715@nifty.ne.jp 関根 一臣

ホームページ：<http://www.butamen.ne.jp/~kogane/landler/>

# NEW CD INFORMATION

## A BURNING THIRST

### YASUSHI HARADA & HIS GANG

ア バーニング サースト 原田靖とヒズ ギャング

5年ほど前に結成し各地のコンサートやライブ活動で高い評価を得ている原田靖 HisGangがファンの熱い要望に応えグループ初のレコーディングを行った現代人の心の渇きを意味するタイトル『ア バーニング サースト』豊かな物では決して満たされない心のオアシスの冷たい水のように染み渡る。お洒落で小粋なアレンジで懐かしい映画音楽やお馴染みのスタンダードナンバーを収録した聴きやすく楽しい一枚!



#### PERFORMER

原田靖.. トロンボーン 藤井寛.. ヴィブラフォン 岩見淳三.. ギター  
岸ミツアキ.... ピアノ、鍵盤ハーモニカ 小西忠吾、ベース 山本勇、ドラム

#### PROGRAM

1. Pink Pather 2. A Man & A Woman 3. Shanghai 4. Brazil 5. Cheek To Cheek 6. April In PARIS 7. My Blue Heaven 8. September Song 9. Strike Up The Band 10. Hush-A-Bye 11. Song Of India 12. Close To The AZALEA 13. Spanish Eyes

定価 ¥3000 (送料別)

申込先 原田 靖 044-877-2175 ..... FAX  
e-mail yasushi@ogumen.com

## SUPER TROMBONE / TAKE FIVE

スーパートロンボーン / テイクファイヴ

VACM/1171 ¥2,718 (税抜き) / ¥2,854 (税込み)

製作・発売元: ビデオアーツ・ミュージック

(株) IMAGICA メディア出版

鬼才デビッド・マッシュズの手によりアレンジされた多彩な楽曲が、最強のトロンボーンから繰り出される白熱のアンサンブルと極上のグルーブで迫り続ける

**2/21 ON SALE**

日本で企画され、95年にNYの最強トロンボーン奏者達により結成されたスーパー・トロンボーンの4年ぶりのニュー・アルバムがついに完成した。4トロンボーンにピアノ、ベース、ドラムスと言う7人編成の異色コンボ。MJ0

(マンハッタン・ジャズ・オーケストラ)を始め様々なセッションに引っ張りだこのファースト・コール・トロンボーン奏者でトロンボーンの第一人者として君臨しているジム・ビューとティヴ・テイラー、ギル・エバンス・オーケストラなどで活躍しており重厚なサウンドと多彩なフレーズに定評があるティヴ・パージェロン、そしてヴァーヴ・レーベルに名盤を残しておりトロンボーン・ファンから絶大な支持を受けているレイ・アンダーソンと言う4人が、ダイナミックでドラマチックで時に崇高な至上のアンサンブルとアドリヴ・ソロを縦横無尽に展開している。



## PERFORMER

Trombones ジム・ビュー、レイ・アンダーソン、テイヴ・バージェロン、Bass Trombone テイヴ・テイラー  
Piano ビル・メイズ Bass チップ・ジャクソン Drums ジェフ・バラード

## PROGRAM

1. キャプテン・カリブ/D.Grusin 2. ビ・バップ/D.Gillespie 3. ソング・フォー・マイ・ファーザー/  
H.Silver 4. ウィアー・オール・アローン/B.Scaggs 5. テイク・ファイヴ/P.Desmond 6. ファイヴ・スポッ  
ト・アフター・ダーク/B.Golson 7. ボップ・アップ/D.Matthews

収録：2000年11月8日 NY WAREHOUSE STUDIO

\*2曲目『Be Bop』のトロンボーン・アンサンブル・スコア付き

### ＜山野楽器の特典＞

山野楽器各店では、2/21発売の『スーパートロンボーン/テイクファイヴ』の購入者を対象にカセットテープ  
応募によるバンドジャーナル誌上クリニック参加券アンサンブル・スコア・プレゼントの特典キャンペーンを  
行います。詳しくは店頭で御覧下さい。

また通販を御希望の方は、

山野楽器銀座店ジャズスコア 03・3562・5051（代）まで

\*ジム・ビュー、テイヴ・テイラーが使用する Getzen Trombone に関しましては、  
(株)プリマ楽器（代表）03・3861・1351にて取扱いをしております。



## 編集担当からのお願い

トロンボーンに関する催し・コンサートなど日本国内外にかかわらず  
このインフォメーションコーナーに掲載いたしますので、  
どうぞ御遠慮なく情報をお寄せ下さい。

連絡・お問い合わせ / 日本トロンボーン協会事務局（郵送に限る）E-mail: JAT@BrassAvenue.com

## 第5回「トロンボーン懇親会」&平成12年度総会のお知らせ あこがれのプロ奏者とアンサンブルしよう!

さて、恒例となりました、トロンボーン懇親会を下記のとおり開催致します。プロ奏者とアマチュア奏者が歓談し、一緒に楽器も吹けるという貴重な機会です。他のT r bファンと交流したい! なんでもいからアンサンブルしたい! プロの音が聞いてみたい! 酒飲んで吹きたい! (成人のみ!) 自分の楽器を自慢したい! 日頃のアンサンブルメンバーで参加してミニコンサートを! T r bのコンサートに行きたいけど情報は?・・・こんな方々の参加をお待ちしております。参加資格は協会会員に限りません。T r bに興味のある方ならどなたでも結構です。クラブやバンドのお友達とお気軽にご参加ください(初心者も大歓迎!) 参加者希望者は楽器とつまみ1品(値段は問わず。但しナマ物は不可)を御持参ください。やってみたいアンサンブル譜面の持参も大歓迎です。(飲み物・譜面台は主催者側で用意します)

また前回に引き続き大オークション大会をやりませう。要らなくなったCDや楽譜、マウスピース、楽器(!? )等々、お持ちください。すごい盛り出し物もあるかも! 沢山のご来場をお待ちしています。なお、懇親会に先立って、トロンボーン協会の総会も開催します。(議題:平成12年度活動報告など)

日 時 平成13年3月25日(日)  
午後5時~総会  
午後6時~トロンボーン懇親会

場 所 大田区民プラザ  
総会:第4会議室(3F)  
懇親会:小ホール(B1F)

懇親会費用 2,000円(高校生以下は1,000円)  
(飲み物は主催者側で準備します)

参加(予定)の方々  
(敬称略) 伊波睦・今井頼夫・郡恭一郎・白石直之・  
箱山芳樹・牧瀬要利・三輪純生・  
村上準一郎・村田厚生・・・等々、多数予定

申込み 参加希望者は直接会場へお越しください。  
問い合わせ 細谷 E-Mail:hosoya@eiki.thj.tokyo.east.ntt.co.jp  
Tel:090-8678-8070



※住所:大田区下丸子3-1-3 Tel:03-3750-1611  
※交通:東急多摩川線(日:東急目黒線) 下丸子駅下車  
徒歩1分

あ感動をもう一度!

# 100 TROMBONE CONCERT 2001

平成13年 11月19日 午後7時 開演

東京文化会館 大ホール

1997年に行われた「100人のトロンボーンコンサート」の興奮が今一度蘇ります。

ハリウッドで千を超える映画のサウンドトラックにて50年近く演奏し、ヘンリー・マンシーニ楽団のフィチャーリングアーティストとして活躍してきたロイド・エリオット、スタンケントン楽団を経てフランク・シナトラのお抱えオーケストラ、ネルソン・リドル楽団のフィチャーリングベーストロンボーン奏者、ジョージ・ロバーツ、同じくスタンケントン楽団を経て作曲家としてハリウッドで活躍するハリー・ベッツを前回同様ゲストに迎える。

しかし今回はクラシックにもゲストを迎える予定。

カレンダーや手帳には今から大きな印をつけておいて下さい

企画・製作 担当 村上準一郎

マネージメント プロアルテムジケ